

新潟県上越地域振興局長賞

父がきっかけで知った税

上越市立柿崎中学校 三年

佐藤 咲月

私の父はたばこが大好きです。毎日何本もたばこを吸っています。そんなたばこには「たばこ税」という税がかかっています。私はふと、たばこ税とはどのような税で、何に使われているのかが気になり、調べてみることにしました。

たばこ税は、国たばこ税、地方たばこ税、特別たばこ税という三つの税の総称です。国たばこ税は国の、地域たばこ税は都道府県の自治体の「一般財源」となります。そのため具体的にどのように使われているかは明らかになっていませんが、教育、福祉、暮らしに関することに使われているといえます。特別たばこ税は旧国鉄の債務返済や国有林野事業の負債の穴埋めに使われています。

たばこ税について調べてみて、たばこ税は「たばこ税」という一つの税ではなく三つの税の総称であることや、様々な使われ方をしていくことが分かりました。しかし、今、たばこ税においていくつか問題が起こっていることも分かりました。

その中の一つに、たばこ税を増税すべきか、というものがあります。喫煙者の多くは増税に反対しているのに対し、非喫煙者の多くは増税に賛成しています。喫煙者の増税賛成派は「禁煙のきっかけになる」、

反対派は「金銭的負担が増える」、非喫煙者の賛成派は「喫煙者が減少する」、反対派は「増税しすぎだ」という意見をそれぞれ出しています。

私はたばこの臭いがとても苦手です。だから今までは、「早く増税をして、喫煙者が減ればいい」と考えていました。しかし、増税によって苦しい思いをする人もいることに気づきました。

今、ほとんどの乗り物や店舗の中が禁煙になっています。私たち非喫煙者にとっては、煙の臭いや煙による健康被害を気にする必要があります。なくなるのでありがたいです。しかし、喫煙者はとても肩身の狭い思いをしているのです。

非喫煙者と喫煙者の間には今、格差があります。増税することで、さらにその格差が広がってしまうのではないだろうか。リスクを理解した上で吸いたいと思う人がたばこを吸える、そして吸いたくない人は吸う人によって健康被害を受けない、そんな社会になってほしいと私は考えます。そして父には、健康に気をつけて生活を送ってほしいです。